



白馬村

白馬村と一緒に考える白馬 SDGs プログラム

雪不足などの気候変動を身近に感じている国際山岳リゾート「HAKUBA」で、「環境」「経済」「社会」などから関心のある項目を選び、白馬の抱える課題を地元企業の話の聞いたり体験しながら実感し、課題を解決する持続可能な開発策を探求する。

エリア	白馬村	対象	小学生・中学生・高校生
実施時期	通年	受入可能人数	8～200名
所要時間	120分～	料金	小・中・高校生 1,500円～ ※選択したプログラムにより異なる

学習のポイント

- ① 地域の課題を調べる
- ② 実際に白馬の人の話を聞いたり体感して課題を明確化し、その課題解決策を探る
- ③ 自分の地域でも課題を見つけその解決策を見出し実践する方法を考える

プログラム一覧

プログラム名	料金	所要時間	受入人数
白馬でのトレッキング	4,500円～	200分	10～200名
白馬 SDGs ラボ 自分でできる SDGs を考える	2,000円～	90分	8～100名
白馬五竜高山植物園 高山植物保全活動	3,000円～	180分	15～75名
「砂防」を学び、街づくりを考える	2,000円～	180分	5～40名
規格外野菜を使っておいしい料理を作ってみよう	3,000円～	180分	5～20名

事前学習

- ・白馬村の課題について調べる
- ・当日に聞きたいことをまとめるなど、当日の計画を立てる

現地学習

- ・実際に白馬の事業者から話を聞いたり、実際の現場を見たり体験したりする。
- ・事業者との意見交換から、考えてきた課題への解決策のヒントを得る

事後学習

- ・白馬村の抱える課題の解決策をディスカッションしてまとめる
- ・白馬村にその解決策を提案する

プログラムの流れ

各事業者の指定場所に集合 ▶ 事業者の自己紹介 (5分) ▶ 講義や現地視察 (60～90分) ▶ 質疑応答 (20分) ▶ 解散



高山植物保全活動

希少な高山植物を保護するための活動や白馬ならではの高山植物などを通じて学び、考え、自分自身が住む地域や身の回りの自然のことも今まで以上に理解できるような体験学習を行います



白馬 SDGs ラボ

白馬 SDGs ラボのプログラムでは、SDGs の考えがなぜ必要かの紹介から自分ができることを考えるキッカケ作りをします



八方尾根自然研究路での植生回復作業

八方尾根開発のプログラムでは、地元の方々によって植生回復の活動を紹介します。その他に再生可能エネルギーでの施設運営についてお話しします

【備考】

- ・プログラムの内容は選択する企業ごとによります。
- ・参画企業の一つだけを全員で選択することも可能です。各プログラムの受入可能人数をご確認ください。

【問い合わせ先】

白馬村観光局
TEL 0261-72-7100